

活性化好酸球, 好中球エラスターゼ陽性細胞は, アレルギー性鼻炎患者において対照よりも有意に多く, 内服4週後に有意に減少した。IL-4, IL-5, RANTES, Cys-LTs, IL-1 β , TNF- α , IL-8 はアレルギー性鼻炎患者において対照者よりも有意に高く, 内服4週後に

有意に減少した。アレルギー性鼻炎の病態は様々な細胞から放出されるサイトカイン, 化学伝達物質の複雑な関係により成立しているが, Cys-LTs は, 鼻粘膜局所への好酸球浸潤に関して主要な因子の一つであり, 鼻閉の要因であることが明らかにされた。

第474回

広島大学医学集談会

(平成15年7月3日)

—学位論文抄録—

1. Clinicopathological evidence of nodular gastritis in adults

(成人結節性胃炎の臨床病理学的意義)

1) Nodular gastritis in adults is caused by *Helicobacter pylori* infection

(成人結節性胃炎は *Helicobacter pylori* 感染によって生じる)

2) High incidence of B-cell monoclonality in follicular gastritis: a possible association between follicular gastritis and MALT lymphoma

(濾胞性胃炎での高い B-cell monoclonality 陽性率: MALT リンパ腫との関連性)

宮本真樹

創生医科学専攻先進医療開発科学講座(分子病態制御内科学)

結節性胃炎187例を対象に臨床病理学的検討を行った。過去11年間の内視鏡での発見頻度は0.19%で, 平均年齢は32.6歳, 男女比は1:2.8と若年女性に多く認められた。81%で *dyspepsia* を伴っていた。内視鏡所見は前庭部に密集する結節性変化であった。病理所見では全例でリンパ濾胞を認め, 前庭部優位の汎胃炎を呈していた。全例で *Helicobacter pylori* (*Hp*) 陽性であった。除菌成功により症状, 内視鏡所見, 病理所見は改善した。13%で消化性潰瘍, 胃癌, 胃 MALT リンパ腫の合併を認めた。本胃炎ではリンパ濾胞の増生が著明であることから, 胃 MALT リンパ腫で高率に認められる IgH 遺伝子の再構成を検討したところ30%で B-cell monoclonality を認め, 一般の *Hp* 陽性胃炎に比べ有意に高率であった。かつて生理的現象と考えられていた結節性胃炎は *Hp* 感染によって生じ, 胃十二指腸病変を高率に発症する病的状態と考えられた。

2. Cardiac angiotensin II type 2 receptor activates the kinin/NO system and inhibits fibrosis

(心アングiotenシンIIタイプ2レセプターはキニン/一酸化窒素系を活性化し線維化を抑制する。)

栗栖智

創生医科学専攻先進医療開発科学講座(分子病態制御内科学)

【目的】心筋細胞における AT2 過剰発現が, キニン/一酸化窒素系を介して, AngII により誘導される心筋細胞肥大あるいは間質線維化を抑制するかどうか心特異的 AT2 過剰発現トランスジェニックマウス (TG) を用いて検討した。

【方法】TG と野生型マウス (WT) に対し, AngII (1.4 mg/kg/日) あるいは生理食塩水を14日間皮下注入した。

【結果】心筋細胞横断面積, 左室重量および心房性利尿ペプチド mRNA レベルにより検討した心筋細胞肥大は両群で同等であった。AngII は著明な冠動脈周囲線維化をもたらしたが, その程度は WT よりも TG において軽減していた。TG における AT2 の冠動脈周囲線維化抑制効果は, ブラジキニンレセプター遮断薬, 一酸化窒素合成酵素阻害剤により消失した。

【結語】本研究の結果から, 心筋細胞 AT2 レセプター刺激はキニン/一酸化窒素系を介して血管周囲線維化を抑制することが示唆された。

3. Insulin or bFGF and C2 ceramide increase newborn rat retinal ganglion cell survival rate

(ラット網膜神経節細胞のインシュリンまたは bFGF と C2 セラミドによる生存率の増加)

伊藤真美

創生医科学専攻先進医療開発科学講座(視覚病態学)